

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年 6月 15日	
栃木県知事 福田 富一 様	
提出者	
住 所 東京都台東区台東2-9-4 明治安田生命秋葉原昭和通りビル 6F	
氏 名 セイコーNPC株式会社 代表取締役社長 遠藤 洋一	
電話番号 03-6747-5300 (代表)	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	セイコーNPC株式会社 那須塩原事業所
事業場の所在地	栃木県那須塩原市下田野531-1
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	電子部品・デバイス製造業
② 事業の規模	非公開
③ 従業員数	213名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	排出量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	排出量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4の通り		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4の通り		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		

(第4面)

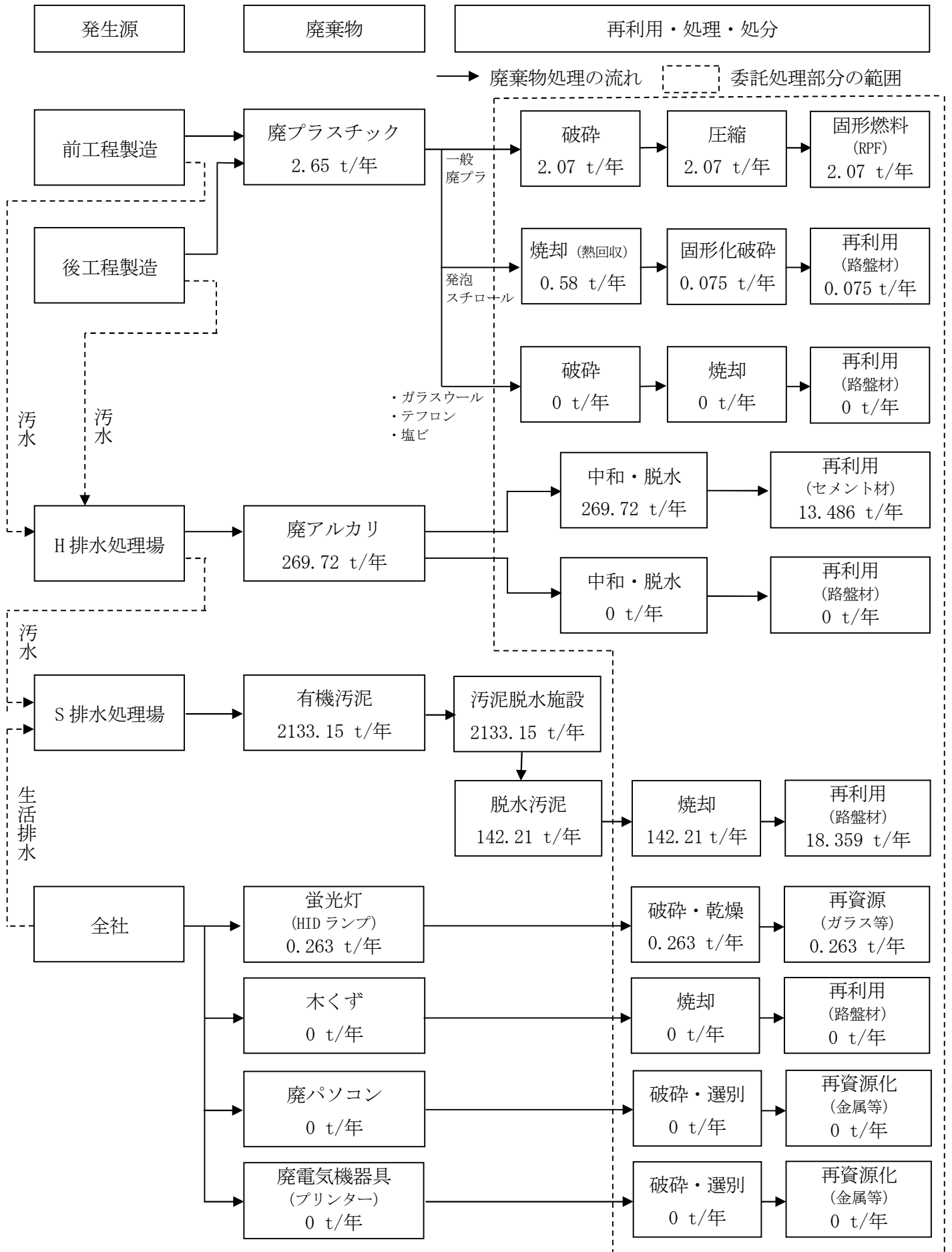
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全処理委託量	別紙3の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙3の通り	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全処理委託量	別紙3の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1



廃棄物処理フロー図 (現状)

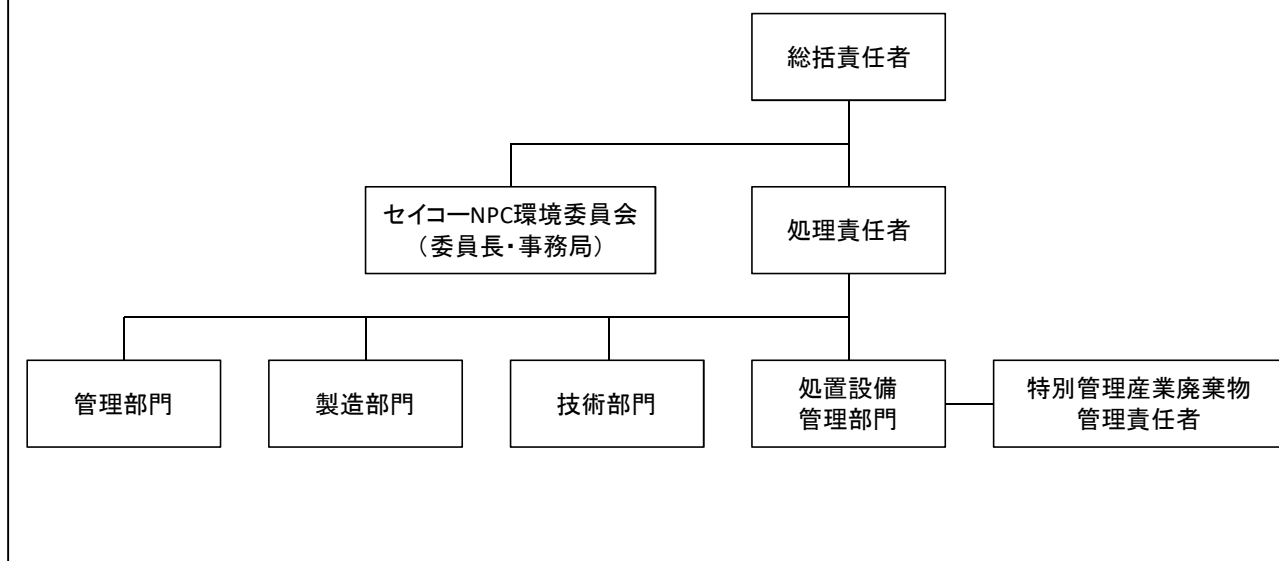
別紙2

＜産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項＞

管理体制図

総括責任者	産業廃棄物関連の統括的責任者 職名：公害防止統括者
処理責任者	産業廃棄物関連設備の維持・管理責任者 発生量の削減、リサイクル推進等の具体的行動の責任者 職名：施設課長
環境委員会	IS014001との整合性チェック、啓蒙、削減指示結果の登録 職名：委員長・事務局
管理部門	行政機関との窓口業務と提出書類等の管理 法規制のモニターと管理 職名：管理部長
製造部門	発生設備の管理と減量化 職名：製造部長
技術部門	減量化の企画・実施 職名：技術部長
処理設備 管理部門	処理設備の維持・管理 減量化の企画・実施 リサイクルの維持 他 職名：施設課長
特別管理産業 廃棄物管理責任	特別産業廃棄物の排出状況の把握、処理計画の策定、適正処理の確保等 職名：有資格者

産業廃棄物組織図



別紙3

R 4 年度実績値及びR 5 年度目標

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	汚泥		廃アルカリ		廃プラスチック	
	実績〔t〕 (R4年度)	目標〔t〕 (R5年度)	実績〔t〕 (R4年度)	目標〔t〕 (R5年度)	実績〔t〕 (R4年度)	目標〔t〕 (R5年度)
排出量	2133.15	2069.16	269.72	107.89	2.65	2.57
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	1990.94	1931.21	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋	0	0	0	0	0	0
投入処分量	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	142.21	137.94	269.72	107.89	2.65	2.57
優良認定処理業者への処理委託量	142.21	137.94	269.72	107.89	0.58	0.56
再生処理業者への処理委託量	142.21	137.94	269.72	107.89	2.65	2.57
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	蛍光灯		木くず		廃パソコン	
	実績〔t〕 (R4年度)	目標〔t〕 (R5年度)	実績〔t〕 (R4年度)	目標〔t〕 (R5年度)	実績〔t〕 (R4年度)	目標〔t〕 (R5年度)
排出量	0.263	0.255	0	—	0	—
自己再生利用量	0	0	0	—	0	—
自己熱回収量	0	0	0	—	0	—
自己中間処理減量化量	0	0	0	—	0	—
自己埋立処分又は海洋	0	0	0	—	0	—
投入処分量	0	0	0	—	0	—
全処理委託量	0.263	0.255	0	—	0	—
優良認定処理業者への処理委託量	0.263	0.255	0	—	0	—
再生処理業者への処理委託量	0.263	0.255	0	—	0	—
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	—	0	—
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	—	0	—

廃棄物の種類及び 実績、目標の別 排出・処理 の区分	廃電気機器具					
	実績 [t]	目標 [t]	実績 [t]	目標 [t]	実績 [t]	目標 [t]
	(R4年度)	(R5年度)	(R4年度)	(R5年度)	(R4年度)	(R5年度)
排出量	0	—				
自己再生利用量	0	—				
自己熱回収量	0	—				
自己中間処理減量化量	0	—				
自己埋立処分又は海洋	0	—				
投入処分量	0	—				
全処理委託量	0	—				
優良認定処理業者への 処理委託量	0	—				
再生処理業者への処 理委託量	0	—				
認定熱回収業者への 処理委託量	0	—				
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0	—				

下記の廃棄物種類に関しては定期的に排出される廃棄物ではない為、目標値無し。

- ・木くず
- ・廃パソコン
- ・廃電気機械器具（プリンター）

別紙4

<産業廃棄物の排出の抑制に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	薬注量の適正管理 工程安定化 前年度比3%の削減	薬注量の適正管理 工程安定化、各種設備メンテナンス 前年度比3%の削減
廃アルカリ	濃縮機の適正管理濃縮率向上 アルカリ性の排水再利用 前年度比3%の削減	薬品使用エリア廃止（工場一部廃止） 前年度比60%の削減
廃プラスチック	分別の徹底、再資源化 前年度比3%の削減	分別の徹底、再資源化 前年度比3%の削減
蛍光灯	蛍光灯をLED照明化 前年度比3%の削減	蛍光灯をLED照明化 前年度比3%の削減
その他	—	—

<産業廃棄物の分別に関する事項>

	分別している産業廃棄物の種類 及び分別に関する取組	今後実施する予定の分別している産業 廃棄物の種類及び分別に関する取組
汚泥	定期的に成分分析の実施	—
廃アルカリ	定期的に成分分析の実施	—
廃プラスチック	種類別に分別保管実施	—
蛍光灯	種類別に分別保管実施	—
その他	種類別に分別保管実施	—

<自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	—	—
廃アルカリ	アルカリ性の排水を中和剤として再生利用	—
廃プラスチック	—	—
蛍光灯	—	—
その他	—	—

<自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	—	—
廃アルカリ	—	—
廃プラスチック	—	—
蛍光灯	—	—
その他	—	—

<自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	ゼロエミッション、リサイクル 100%維持活動	左記継続
廃アルカリ	ゼロエミッション、リサイクル 100%維持活動	左記継続
廃プラスチック	ゼロエミッション、リサイクル 100%維持活動	左記継続
蛍光灯	ゼロエミッション、リサイクル 100%維持活動	左記継続
その他	ゼロエミッション、リサイクル 100%維持活動	左記継続

<産業廃棄物の処理の委託に関する事項>

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
汚泥	—	—
廃アルカリ	—	—
廃プラスチック	—	—
蛍光灯	—	—
その他	—	—